

11月25日(月)

本日は、午前中上智大学にて丸山英樹准教授による講義、午後から東京大学にて北村友人准教授による講義がありました。

上智大学の丸山先生による講義では、「持続可能な未来のための教育及び生涯学習の動き」がテーマでした。講義は、学校教育とノンフォーマル教育を取り上げ、学校教育制度の中で重視される「成績」や「試験」は本当に人として豊かな生き方につながるのか問う内容でした。ノンフォーマル教育を重視している北欧の中でも、フィンランドにおける教育を事例としてあげ、さらに成績や試験のために「効率性」を重視した教育をするのかあるいは人生を豊かにする生涯における学びである「効果性」を重視した教育をするべきなのか問われました。



研修員は、経済的・財政的な問題がある自国において、事例として挙げられた教育制度をどのように分析し、実践することができるのか問うていました。

東京大学の北村先生によるご講義では、テーマとして「持続的な未来にむけた質的な教育の促進のための教育政策」を取り上げられました。講義の中で、カンボジアにおける研究事例をはじめとして、多くの事例を用い、持続可能な開発目標(SDGs)における教育の必要性やその学びの変化、そしてその学びのための政策を革新する挑戦の必要性を説いていました。



リフレクションの時間では、研修員がそれぞれの視点から、講義の中で取り上げられた事例のどこが重要と感じたのか、どのように自分たちの社会に取り入れることができるのか等、議論していました。

か、どのように自分たちの社会に取り入れることができるのか等、議論していました。

